

学術奨励賞受賞者一覧

回数	年度	受賞者(氏名・所属)	題目
第1回	1999	桐原 正之(富山医薬大薬)	含フッ素有機化合物構築法の開発とその応用
		山田文夫(金沢大薬)	4位置換インドール合成法の開拓と天然物合成への応用
第2回	2000	木津 良一(金沢大薬)	ヒトの保健衛生に関する研究
		豊岡 尚樹(富山医薬大薬)	新規汎用性キラル素子の創製とその生理活性天然物合成への応用
第3回	2001	柴田 太(富山医薬大薬)	ラット好中球走化性因子Chinks の炎症における役割
第4回	2002	崔 吉道(金沢大薬)	トランスポーターのin vivo ヘテロ発現による薬物体内動態の能動制御
		安池 修之(北陸大薬)	光学活性有機アンチモン化合物の合成とその性質
第5回	2003	中村 憲夫(富山医薬大和漢研)	抗HIV 活性を有する伝統薬物の研究
		田淵 圭章(富山医薬大・生命科学実験セ)	機能保持細胞モデルの構築と網羅的遺伝子発現解析研究への応用
第6回	2004	該当者なし	
第7回	2005	安東 嗣修(富山大薬)	痒みにおける表皮ケラチノサイトの重要性
第8回	2006	松谷 裕二(富山大院薬)	共役アルキン類の連続的活性化と3成分連結反応への展開
		守田 雅志(富山大院薬)	副腎白質ジストロフィーの分子病態の解明と治療薬開発
第9回	2007	東田 千尋(富山大和漢研)	伝統薬物による神経変性疾患の克服ー治療薬開発と病態秩序の解明に向けてー
第10回	2008	田口 雅登(富山大院薬)	薬物動態関連遺伝子の多型診断に基づく β 遮断薬の体内動態変動機構解析
第11回	2009	檜井 栄一(金沢大院薬)	骨組織におけるグルタミン酸シグナリングの機能解析
		藤本 和久(富山大院薬)	ピレンを骨格とする高性能蛍光色素、ならびに高感度センサ分子の開発に関する研究
第12回	2010	中道 範隆(金沢大院薬)	グルタミン酸シグナル入力による神経幹細胞の機能制御
		稲垣 冬彦(金沢大院薬)	多重結合の特性を活用した分子内環化反応とその応用
第13回	2011	小川 数馬(金沢大院薬)	転移性骨腫瘍の核医学診断・治療を目的とした薬剤の開発研究
		宝田 剛志(金沢大院薬)	間葉系幹細胞に由来する各種細胞の機能制御に関する研究
第14回	2012	郡山 恵樹(金沢大院医)	視神経を中枢神経モデルとした修復・再生に関わる分子機構の解析
		室山 明子(北陸大薬)	パーキンソン病の進行抑制を目指した補完代替医療アプローチ
第15回	2013	該当者なし	
第16回	2014	久保 義行(富山大院薬)	血液組織関門におけるカチオン性薬物輸送機構の解明
		深見 達基(金沢大院薬)	医薬品による毒性発現に関わるオーファン加水分解酵素の機能解明
第17回	2015	高橋 達雄(北陸大薬)	骨指向性薬物の創製と骨・関節疾患治療への応用

第18回	2016	南部 寿則 (富山大院薬)	スピロシクロプロパンの高反応性を活用する複素環化合物の新規合成法の開発
		福地 守 (富山大院薬)	神経可塑性の分子基盤を担う遺伝子発現制御系の解明